

～ ダストン君と学ぶ、佐世保の脱炭素 ～

ゼロカーボンSASEBO通信

“SDGsフェスで出たCO₂を、佐世保の海の保全活動でオフセットに！”

2050年カーボンニュートラルを目指す佐世保市。ダストン君と一緒に、佐世保市の脱炭素に関する取り組みを学び、未来を守る第一歩を踏み出しましょう！

● NAKIRI SDGs FESTIVALでカーボン・オフセット

2026年5月23日に開催された「第4回 NAKIRI SDGs FESTIVAL」。西部ガス佐世保株式会社、株式会社西九州させぼパワーズ、佐世保市の3者が協力し、イベントで使用した電気に伴う温室効果ガス(以下、CO₂といいます)の排出量と、来場者、出展者の来場手段によるCO₂排出量を算定し、佐世保市の「Jブルークレジット」でオフセット(カーボン・オフセット)する取り組みを実施しました。



佐世保は車社会やけん、僕たちの移動で排出されるCO₂は多かっちゃんね…



NAKIRI SDGs FESTIVALの様子

● カーボン・オフセットとは？

私たちは生活の中で、どうしても地球温暖化の原因となるCO₂を出してしまいます。日常的な取り組みでCO₂を減らす努力はもちろん大切ですが、どれだけ頑張っても排出量をゼロにすることはできません。

そこで生まれたのが、「自分が減らせなかった分のCO₂を、ほかの取り組みで減らす」という発想です。具体的には、ほかの場所で行われている植林や省エネ活動による「CO₂削減の成果」を買い取り、自分の排出量を地球全体で相殺するという仕組みです。



(出典:環境省 カーボンオフセットガイドライン)

● 佐世保市のJブルークレジット

今回のイベントでは、「佐世保九十九島の藻場づくり」で生まれたJブルークレジットにてオフセットを行いました。

九十九島周辺では、海洋植物を食害するウニの除去やアマモ(海草)の種まきなど、CO₂を吸収する藻場づくりが続けられています。藻場の再生はCO₂削減だけでなく、魚たちの住処となって豊かな海に戻すことにもつながります。



ウニの除去



アマモの種まき

海も豊かになって、CO₂も減らせて一石二鳥な仕組みばい！



さらに、カーボンクレジットの売上金が次の佐世保の海を守る活動に活用される、持続可能なサイクルが生まれています。



【オフセットの結果】

- ・イベントで排出されたCO₂(一部) 0.32t-CO₂
- ・オフセットしたCO₂ 0.40t-CO₂
- 0.40t-CO₂ = 杉の木約45本が1年間に吸収する量！



これからも、佐世保の脱炭素ばどンドン進めるけん！みなさんも身近なエコから一緒に始めてみんね？



Jブルークレジット・カーボンオフセット証書